

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	賦課事務			事業コード	0214
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	藤井 英夫	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 1款 2項 1目 賦課徴収費 (001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 昭和28年度～)					
事務事業の概要	国民健康保険加入者に対する健康保持増進及び医療保険事業を行うための財源として国保税を賦課する。					
根拠法令等	地方税法及び市税条例第138条から第150条による。					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和23年に(旧)国民健康保険法が改正され、昭和29年2月から盛岡市の国民健康保険事業が開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
国民健康保険税の軽減・減免の見直しの要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
後期高齢者医療制度の創設に伴い75歳以上の加入者が移行した。玉山区の国民健康保険税の不均一課税は、経過措置期間満了に伴い平成23年度から盛岡市市税条例に規定する税率とする。また、課税限度額を平成23年度から改正した。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市国民健康保険加入者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 国民健康保険加入者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市民税課から所得の把握、資産税課から資産税の把握及び市民登録課から転入者等の住民異動の把握  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 市民税課等から所得の把握、市民登録課から転入者等の住民異動の把握を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 国保税納税義務者	単位	人
				B. 月例異動処理に係る郵送件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	国民健康保険加入者に対し適正賦課することにより国保財政を安定的に運営し加入者が安心して制度を利用できるようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 賦課調定額 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	千円
				B. 歳入会計に占める割合 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に運営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位:千円) 1人当たり療養諸費用額(単位:円) 現年度収納率(単位:%) 実質単年度収支額(単位:千円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	国民健康保険加入者数	人	83,167	64,445	64,000	66,352	66,000	66,000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	国保税納税義務者	人	59,651	46,951	46,500	41,039	41,000	41,000	年度
活動 指標B	月例異動処理に係る郵送件数	件	26,571	16,775	16,500	16,770	16,500	16,500	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	賦課調定額	千円	6,155,928	6,057,675	6,023,680	5,541,563	5,540,000	5,540,000	年度
成果 指標B	歳入会計に占める割合	%	24.6	24.3	23.9	22.0	22.0	22.0	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	27,659	27,150	27,150	26,442	28,503	28,503	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	27,659	27,150	27,150	26,442	28,503	28,503	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	27,659	27,150	27,150	26,442	28,503	28,503	*****
延べ業務時間数		時間	11,212	10,616	10,616	10,755	10,755	10,755	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	44,848	42,464	42,464	43,020	43,020	43,020	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	72,507	69,614	69,614	69,462	71,523	71,523	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 適正賦課により財源を確保し国民健康保険制度を維持する。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 賦課算定の基礎となる国民健康保険加入者の所得把握に努める。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国民皆保険制度が崩壊する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 賦課システム導入により経費を削減している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 賦課システムが旧態であるため、制度改革による対応の多くが手処理となっている。国保資格の処理から賦課処理までシステムの全面見直しの時期が到来している。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国民皆保険の趣旨から他の健康保険に加入していない者は、全て国保加入者となる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国民健康保険制度は、受益者負担の制度である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  賦課システム、給付システムが旧態であるため、住民基本台帳システムとの連携が完全に行われておらず、データの再入力を行っている状況にある。システムの見直しにより初期投資は生ずるが、事務効率は大いに改善する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  国保制度の再編について予測がつかない状況にある。システムの見直しを行ってもシステムを継続使用できるか不透明である。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ○ 妥当 ● 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ○ 妥当 ● 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>地方税法に基づき、国保税の適正な賦課事務に努めた。税負担の公平性の確保の観点から、未申告者に対しては、窓口来庁の際に、申告を促すなどの取組みを行った。                  また、賦課システムの改修については、現在、全庁的に住民基本台帳システム自体の見直しを行っていること、後期高齢者医療制度の廃止に向けた見直しが国で進められていることなどから、これらを勘案し賦課システムを構築していく必要がある。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p>時期: 年度から</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										